

学びの音

清明小学校 校長室だより

令和7年4月4日

自主の校風と2つの心

令和7年度の新しい一年がスタートしました。皆さんは、どのような気持ちで今日の一步を踏み出しましたか？昨年度の終業式

の際に、1年間をしっかりと振り返ったお友達が、来年度に向けて新たな目標を掲げていました。ここにいる皆さんも、年度末から春休みを通して自分の成長を振り返り、成長をかみしめ、新たな希望をもって、今日ここに在るのではないのでしょうか。

令和6年度は、皆さんが振り返った通り、一人一人が、学級が、学校が多くの成長を成し遂げました。それを踏まえて、令和7年度は次の3つのことを皆さんと一緒に大切にしたいと思っています。以前お話した学校のグランドデザインにも掲げてあります。

まずは「自主の校風」です。これは、皆さんも知っているように、清明小学校の柱となるものです。開校以来大切にしてきた自主の校風「自分で考え、自分で行動すること」このことを大切にしてほしいと思います。

そして、この「自主の校風」を土台にして、「神樹の心」さらに「一心の道」を大切にしてほしいと思います。「神樹の心」は昨年度来、皆さんと考え合ってきた心です。全校の皆さんで考え合ったこともありましたね。その中で「思いやる心」「たすけ合う心」「友だちを認め合う心」「『神樹の木』のように大きな心」等、温かで優しく、豊かな心の姿が出されました。学級や学校には、お友達や先生方等、たくさんの方が一緒に生活しています。その中で、自分や自分たちのことだけを考え、行動していたのでは、皆が楽しくなることはありません。「自分は悲しい」「自分は腹が立つ」といった「自分」だけを物差しに考えるのではなく「〇〇さんは？」「〇〇さんはどう思うかな？」のように相手の気持ちを感じようとする。その場で生活をする相手の気持ちを、皆さん一人一人が感じようすることができたら、きっとだれもが楽しく生活できるものと思います。



「一心の道」… 職員室と校庭の間に、この「一心の道」と書かれた大きな碑があることを皆さんは知っていますか。昨年度末以来、勉強や運動で頑張ったこと、さらには1年をかけて皆で探究してきたことを語ってきた皆さんです。だからこそ「今年は…」と、もっと考えたいこと、やりたいこと、挑戦したいことを胸にしていると思います。その「やりたい」「考えたい」にとことん向かっていってください。「一心不乱」に…「一心の道」については、また皆で考え合いたいと思っています。

昨年度末に「節目」のお話をしました。今年の自分を考えるとワクワクしてきませんか。このワクワクする思いをさらに膨らませるような素敵な一年にしていきましょう。